

# 洋上風況マップ°（NeoWins）の改定に関する研究開発

## 事業の目的・概要

- 現行NeoWins及び陸上風況マップの開発知見を活用し、約10年ぶりの大規模改定を実施する。
- 広域・長期間の風況シミュレーションを新規で実施し、陸上・洋上の風況マップをそれぞれ更新する。
- EEZ全域を含む詳細風況データベースを構築し、政策目標達成に貢献する最新の風況マップ公開を目指す。
- 産学官の全6機関（委託：5、再委託：1）による幅広い技術や知見を活かしたコンソーシアム体制で取り組む。

## 実施体制

※太字：代表

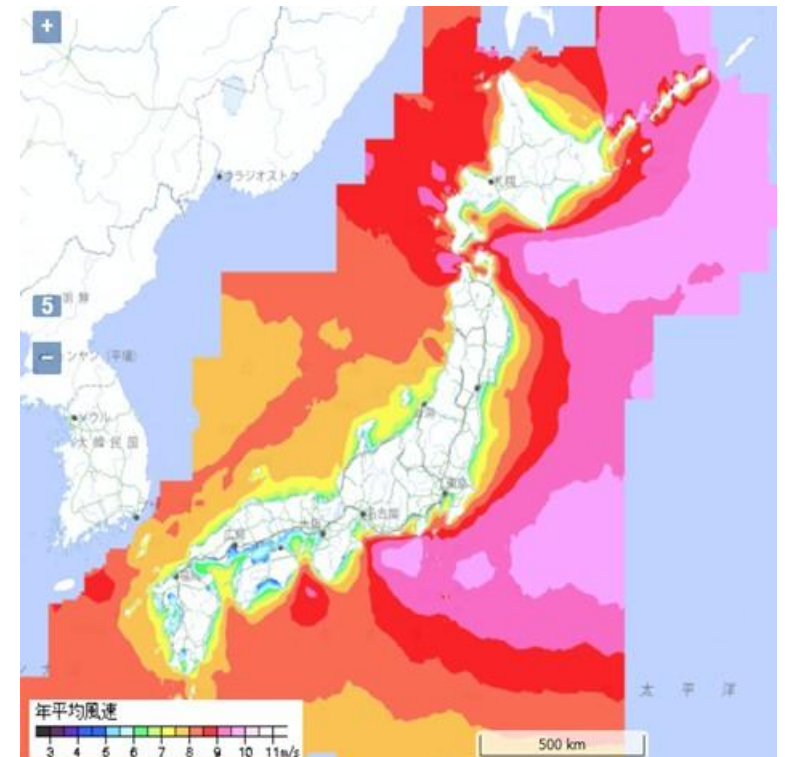
一般財団法人日本気象協会、アジア航測株式会社、株式会社ウインドエナジーコンサルティング、国立大学法人神戸大学（再委託：国立大学法人東京海洋大学）、国立研究開発法人産業技術総合研究所

## 事業期間・事業規模

事業期間：NEDO が指定する日から2028年3月31日まで  
事業規模：約8.3億円

## 事業項目

- シミュレーションモデルの開発・実行、マップに必要な構成要素の整備、マップ閲覧システムの開発等
- 高高度（300m以上）や沖合30km以遠を含む風況データ、最新の自然環境・社会環境に係る構成要素を更新および新規項目を追加
- 排他的経済水域（EEZ）全域の統計情報を整備
- 現行のNeoWinsで未整備の陸上領域についてWRF500m計算を実施



公開中のNeoWins